

自立活動指導案（アサーション 第1時）


1 本時の目標

- 自分の気持ちをうまく相手に伝えるための技を身に付ける。

2 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 本時の流れを知る。 2 問題場面を知る。 3 アサーションスキルについて知る。 4 本時のめあてをつかむ。 自身の気持ちを上手に相手に伝えるためのコツを知ろう。	○ 自分の気持ちが上手に伝えられずに、友達とうまくいかない場面を取り上げる。 ○ ゆうせい君（NHKフォースクール）の吹き出しに記入させることで、気持ちを想像させる。 ○ 気持ちよく生きるためには、自分も相手も大切にすることが重要であることをルールとして伝える。	学習の流れ 場面絵 心の吹き出し アサーションキャラクター（らんぼう、もじもじ）
ひろげる	5 自分の気持ちを上手に伝えるためのコツについて知る。 ・上手な気持ちの伝え方（ハッキリン） ・ハッキリンを育てるコツ（Iメッセージ） 6 問題場面におけるハッキリンの言い方を考える。 ・個人思考 ・全体（ロールプレイ） 7 スキル習得のためのトレーニングをする。 ① トレーニングのめあてを知る。 ② さんれもの冒険をする。 ③ 説明を聞く。	○ らんぼうともじもじの2つのキャラクターと比較をしながらハッキリンの良さ気付かせるようにする。 ○ ハッキリンの伝え方の良さについて分かりやすく説明を行う。 ○ 主語をはっきりさせることで、素直に自分の気持ちを相手に伝えることができることを知らせる。 ○ ロールプレイを行うことで、話し方の練習をさせる。 ○ 個人の意見を称賛しつつ学習を進める。	アサーションキャラクター（ハッキリン） 吹き出しカード ワークシート トレーニングのめあて ルールの説明シート
まとめる	8 本時のまとめをする。 ハッキリンを使うと、自分の気持ちを上手に伝えられる。	○ ハッキリンをトレーニングで育てていく必要性を伝えて、次回の学習につなげる。	学習のまとめ

3 板書計画

めあて	場面絵	
本時の流れ	まとめ	

自立活動指導案（アサーション 第2時）

1 本時の目標

- 自分も相手も大切にしたい話し方についてのコツを知る。
- アサーションスキルを使って相手と関わることができる。

2 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 本時の流れを知る。 2 前時の振り返りを行う。 3 問題場面を知る。 4 本時のめあてをつかむ。 自分も相手も大切にしたい話し方のコツを知ろう。	○ 視覚資料を使って前時の振り返りを行う。 ○ 児童が遭遇しそうな場面を取り上げることで身近な問題として捉えられるようにする。 ○ 本時は、相手に自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手も大切にしたい話し方についてのコツを学習することを確認する。	アサーションキャラクター（ハッキリン）場面絵
ひろげる	5 上手な伝え方のコツを知る。 ・相手に理由をたずねる 6 問題場面におけるハッキリンの言い方を考える。 ・個人思考 ・全体でのロールプレイ 7 スキル習得のためのトレーニングをする。 ① トレーニングのめあてを知る。 ② 無人島の冒険をする。 ・個人思考 ・ペアでの話し合い ③ 全体での振り返りをする。	○ ゆうせい君とさとし君（NHKフォースクール）の気持ちを取り上げながら、自分も相手も大切にしたいハッキリンのコツを学習する。 ○ コミュニケーションに必要なスキルを具体的に伝えることで、実際の場面をイメージして、般化できるようにする。 ○ ロールプレイを通して、伝え方を工夫し、相手に伝えることで、相手も大切にしたいコミュニケーションが築けることを実感させる。 ○ 相手の意見をよく聞いて、ペアで相談をしながらトレーニングができるように声掛けを行う。 ○ ペアでの話し合いの中では、相手の話を聞いて、自分の意見もはっきりと伝えられるようにトレーニングのポイントを提示する。 ○ コツを使いながら、トレーニングできたことを具体的に褒めて、実際の場面に繋げる。	ハッキリンを育てるためのポイント② ワークシート 吹き出しカード 無人島アイテムカード ワークシート ホワイトボード
まとめる	8 本時のまとめをする。 相手の気持ちも考えた伝え方をすることは大切。	○ 自分と相手を大切にしたい話し方のコツの振り返りを行い、本時の頑張りを称賛する。	学習のまとめ

3 板書計画

めあて	場面絵	ハッキリンを育てるためのコツ
本時の流れ		まとめ

自立活動指導案（アサーションスキル 第3時）

1 本時の目標

- アサーションスキルを使って、伝え合う活動をしよう。

2 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
つかむ	1 前時の振り返りを行う。 2 本時の流れを知る。 3 問題場面を知る。 4 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 自分も相手も大切にしたい伝え方をしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハッキリのコツや、普段の生活の中でハッキリの伝え方ができていた場面を取り上げ、意欲につなげる。 ○ 公園で困っているゆうせい君のつぶやきを問題場面にする。 ○ 今回は学んだコツを使って、伝えあう活動を確認する。 	ハッキリのコツ①② 本時のながれ ゆうせい君の顔（NHKフォースクール） 吹き出し
ひろげる	5 上手な伝え方のコツを知る。 ・「ありがとう」 6 公園での遊ぶ場面を想定して、言葉かけを考える。 <問題場面> ① 順番が来たのに、順番をなかなか代わってくれない時 ② 予定していた遊びをしたくなくなった時 ・個人思考 ・ロールプレイ 7 スキル習得のためのトレーニングをする。 ① トレーニングのめあてを知る。 ② ボッチャ説明を聞く。 ③ ボッチャをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの学習も振り返りながら、自分の気持ちを伝えた後には、「ありがとう」を言うことで、よりよい相手との関係が築けることを学習する。 ○ 以前行った公園の写真を提示することで、自分事として場面をイメージしやすくする。 ○ 公園内で起こり得そうな場面を想定して、どんな言葉かけをすればよいのかを個人で考えさせる。 ○ ロールプレイを通して、伝え方の練習を行えるようにする。 ○ アサーションのコツを生かしてペアで話し合っ活動を行わせる。 ○ 相手も自分も大切にしたい言葉かけは、即座に称賛を行う。 	伝え方のコツ③ ハッキリ ワークシート ボッチャの動画 解説絵 ボッチャ
まとめる	8 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ありがとうの言葉を使って、相手に気持ちを伝える。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分も相手も大切にしたい言葉かけをして楽しく活動することができたことを称賛し今後の生活に生かせるようにする。 	学習のまとめ

3 板書計画

